

## 山行報告書

山行管理部

※ 先月号(12月号)において「有志山行 野山不動坂参詣道 10月24日」の記載者名を(児玉 記)とすべきところ、誤って(松本良美 記)と記載しました。訂正の上、お詫びいたします。 山行管理部 三嶋

**公開山行 比叡山 11月28日** CL 新熊 SL 杉谷/早川/松本 (光) 参加 18名  
修学院 8:55—鷺森神社 9:07—雲母坂 9:30—比叡ケーブル 11:20—比叡ケーブル出 12:40—根本中堂 13:00—日吉大社 14:35 着 (解散)

寒さ残るなか、少し紅葉残る鷺森神社をスタートし雲母坂は落ち葉の急騰を登る。なにかしら落ち葉の絨毯みたい。比叡ケーブル到着前の登山道には、うっすら日の当たらない斜面などに残る残雪があり標高、京都らしさを感じました。

いろいろな寺院を見学でき神秘さを堪能。歩き甲斐のある山行でした。

(松本光一 記)

**サロン 大川沿いを歩き 造幣博物館と昼食会 12月4日**

CL 阪上、SL 岸本 参加 16名

桜ノ宮駅午前10時集合→毛馬桜の宮公園→泉布観→造幣博物館→天満橋  
→昼食会 (東天紅) 解散午後2時

天気も良く、緑と紅葉に囲まれた散策路を歩き、造幣博物館では貨幣等先人が作り上げた歴史を感じ、午後から和気あいあいと昼食をとり和ごんだ。

参加者の主な感想 (一口メモ)

○久しぶりのサロン参加、造幣博物館すこし時間が足りないくらいでした。

食事も皆さんのおしゃべりも楽しかった。

○造幣博物館の見学は素晴らしかったです、明治維新の文明開化の原点がここにあったのだと実感しました。

○ひょうひょうと仲間と生きてまた師走。

○こうやって歩けることに感謝です。まして仲間と一緒にワイワイガヤガヤと喋りながら。

○新500円硬貨に感動しました。

(阪上 記)

## 土曜山行 観音山 (526M) ～ゴロゴロ岳 (565M) 12月11日

CL 森 SL 願野 参加 11名

夙川駅 9:00→銀水橋 9:48→北山緑化植物園 10:25→北山貯水池 10:50→  
鷲林寺 11:30→観音山 12:15 (昼食) 12:55→ゴロゴロ岳 13:25 甲陽園駅 15:10

朝の気温が高く、夙川駅で防寒具を脱いで出発。川沿いの夙川上流緑道を歩く。  
ここは春は桜の名所である。

銀水橋からハイキング道を進み、北山緑化植物園に入る。スイセン バラなど多くの草花が咲き色どりも美しい。植物園から続く緩やかな山道を登り北山貯水池に着く。正面に山容の美しい甲山。

池沿いの小道を抜け鷲林寺参道に到着。休憩後、松林の薄暗い急坂を難無く上り寺内に入る。鷲林寺は弘法大師空海の創建と伝えられる真言宗のお寺で山号が「六甲山」。なので山歩きの安全を祈願する。

本道横の多宝塔裏側からやさしい「せせらぎコース」を登る計画だったが、仲間から『きつい「パノラマコース」に挑戦しよう』となり直登コースを登る。急登だが足場がしっかりしていて 30 分で観音山頂上。空は曇っているが北山貯水池 甲山 大阪市内のビル群など素晴らしい景色。

食事と写真撮りの後、ゴロゴロ岳に向けてスタート。尾根道を進み 2ヶ所の岩場を超えて行くと、突然右側に林に囲まれたゴロゴロ岳の標識があり、展望もなく期待外れの山頂。小休止後、足場の悪い急坂をゆっくりと注意しながら下る。

皆様と楽しく歩けました。ありがとうございました。

(森 記)

## 教育部 アイゼンワーク (蓬莱峡) 12月11日(土)

参加 8名 CL 高桑, SL 家納, 高橋、松本光、南、網、稲田理、足立

### 【コース記録】

JR 生瀬駅前 08:40 — 蓬莱峡 09:40

- ・砂場にてアイゼン不装着で歩き方の基本練習。
- ・アイゼンを装着して歩行練習
- ・スラブで登下降の反復練習で歩行姿勢の習得
- ・懸垂下降の体験講習

蓬莱峡 15:20 (反省会) — 徒歩 — 生瀬駅  
16:30 解散

JR 生瀬駅で集合したが、他にも数パーティーあり、ここでのちょっと賑わいに驚く。又、このご時勢の中で、新入会員の参加があり、世



の中が好転する兆しかと期待する。砂場でのアイゼンワークは、今年も4パーティーが使用して、それぞれ声を掛け合うでもなく、それぞれが譲り合って適地で訓練をする雰囲気がとても感動的な時間でした。午後は久しぶりにスラブが空いていたので、フィックスロープを設定して安全確保をして、登下降の練習をする。新入会員のAさんは回数を重ねるごとに上達して、全員が驚きの眼差しで微笑む。最後にレスキュー隊の様に懸垂下降を体験してもらって講習を終える。Aさんをはじめ『楽しかった一日』の声を多く聴き、誠に充実した講習と自画自賛する。

(高桑 記)

### 自然保護部 小谷城址トレッキング 12月12日

CL松本(正) SL杉谷 参加9名

河毛駅9; 30—小谷城登山口10; 00—本丸跡11; 15(昼食)

12; 00出発—山王丸址12:15—六坊跡12:25—清水谷—

小谷城資料館13:15着—河毛駅14:00

暖かい一日であったが霧がかかり山城からの眺めはもうひとつ、山城跡はりっぱで浅井家、浅井三姉妹に思いをはせながらののどかなトレッキングとなりました。長浜で散策の予定だったが、朝が早かった事もあって、皆の意見で長浜は次の機会にし、はやめの帰路となった。

(杉谷 記)

### ターブルドート 勝尾寺南山 12月19日 CL早川、SL黄 参加13名

阪急箕面駅集合・体操・トイレ・コース説明・出発8:35～瀧安寺9:25～

ビジターセンター・トイレ10:40～自然研究路4号路10:45～C4ゲート11:20～

勝尾寺南山12:09 昼食12:30～聖天展望台13:30～箕面駅13:55 解散

寒波襲来!! 箕面にも降雪!! 心配をよそに当日は低気温ながら晴天。足下の乾いた落ち葉が滑る。尾根に出ると風が冷たい。幸い陽当たりで昼食が摂れた。寒いからか皆の足が速く、下見よりうんと早く下山した。

(早川 記)

### 有志山行 R3年12月5日 曇り 日本最低所の分水界兵庫県石生 向山連山縦走

参加人数:距離 7名 7.6Km 5時間50分

JR 石生駅 10:00 着体操 本日のコース案内及びミーティングー 登山口 10:20 衣服調整 10:27 発 二の山 10:49 着 57 発- 三ノ山 11:17 着 19 発- 四ノ山 11:40

昼食 12:16 発 深坂北峰 12:25 着 34 発- 向山 12:35 着 47 発- 五ノ山 12:54 着 13:03 発- 蛙子峰 13:10 着 19 発- 珪石山 13:40 着 46 発- 清水山 13:49 着 14:08 発- 剣爾山 14:23 着 30 発- 水分公園 15:05 着 15 発JR 石生駅 15:54 着

#### この山の特徴

- 低山にもかかわらず急登急坂の連続です
- 尾根道は全て麓の集落が見えている 写真は天狗岩から麓を見た写真です
- やたら奇岩場が多い 正直ネーミング(カエル岩)がなぜこの名？
- この季節落葉樹の葉っぱが絨毯みたいでその葉の下の浮石が厄介で何度か、尻制動しました
- 葉っぱを蹴り上げ、わいわい話しながら山行しました。落葉樹の多い山で素晴らしいです
- 水分公園は日本最低所の分水界で 90M の標高:1 本の河川の流れが分岐して北へ流れると由良川。南は加古川となる珍しいところ。分水嶺と分水界の違いが分かりました
- 春は桜とヒカゲツツジの名所らしい
- 尽きず離れずのグループの人が労山楠の方でした

記 児玉詔二



## 有志山行 探鳥会 鳥飼大橋 ～ 豊里大橋 12月5日

CL井 SL目加田 参6名

小人数でしたが、ベテラン会員の方のご参加もあり、風もなく天候にめぐまれた中、探鳥ハイクを楽しみました。鳥飼大橋～豊里大橋の左岸淀川河畔を探鳥予定でしたが、時間的に余裕があり城北公園まで足を延ばしました。残念ながら直前に、国交省が大規模な河辺林の伐採をしていて、期待していた山野の鳥はあまり観察出来ませんでした。ワンド群では、エクリプス羽のミコアイサ♂1羽、公園の池では本年3月と同じ場所でカワセミを見ることが出来ました。確認野鳥種数 26。

(井 記)